

地域の顔～地域の福祉にかける思い～

須磨区竜が台市営住宅 4 号棟自治会長 金田正一さん

「地域福祉」を語るとき、福祉に従事する方々やその活動内容について注目されることが多いですが、サービスを受ける側について、もっと話し合う必要があるのではないかと考えます。

神戸市看護大学の学生さんたちは、市営住宅の一室を利用し、より身近な場所で地域住民の方々の様々な悩みに耳を傾け、さらに地域について学ぶべく、日々がんばってくれています。このように、地域住民の目線にたって頑張る看護大学の学生さんたちの思いを、地域住民は素直な心で受け取ってほしいと思います。

時には、手助けしようという気持ちや思いやりがうまく相手に届かないこともあります。しかし特別な事情がある場合を除いて、地域福祉を成り立たせるためには、支援する側と受ける側の「心のふれあい」が必要です。人は一人では生きていけません。たくさんの人に支えられ、助けられ、励まされながら生きていくのですから、支援を受ける側は、素直な気持ちをもって「ありがとう」ということにより、より良い関係を築いてほしいと願います。そうすることで、自然と「心のふれあい」ができ、やがて地域の中で「思いやりの輪」が大きく広がっていくと思います。

これから看護大学の学生さんが地域の中で活動される中で、私たち住民は、心から触れ合える機会をたくさん作っていきたいと思います。



COC サテライト

北須磨活動拠点 開所式

地域住民、行政、大学関係者により実施された（筆者は、左から3番目）

地域づくり・健康づくり

～北須磨文化センターは生涯学習を推進しています～

神戸市立北須磨文化センター センター長 北野茂樹 さん

皆さん、ご存じですか。地下鉄名谷駅近くに温水プール・体育館・トレーニング室・大小の会議室、料理室・美術室・陶芸室・音楽室等、各種の特定目的に応じた貸室、4万冊の蔵書を備えた図書室もある文化・スポーツの殿堂があることを。このような多様な施設・設備のそろった施設は市内には他にみあたりません。上手に使う心身の健康増進に役立っていただきたいと思っています。

この春から、トレーニング室とプールのセット割引券も新規に設けました。秋には北須磨フェスティバルと称した発表会や展示会等を開催しています。学習のきっかけづくりにお越しいただけたら幸いです。

北須磨文化センターでは「DESIGN MY LIFE」を合言葉とした活動を展開しています。生涯学習をすすめることが、心と身体の健康に有意義であるという報告もあります。また、学んだことを人に伝え、また、それが評価される「知の循環」からなる生涯学習社会が望まれています。北須磨文化センターは、その一助になればと考え、100を超える文化・スポーツの定例講座の他に単発での体験教室や講演会等を随時開催しています。さらに、そのサポートをボランティアの方々にもお手伝いいただいています。スポーツを含めた生涯学習の拠点として活用いただけたらと願っています。

ところで、最近健康的に生きるための、おもしろい話を聞きましたので紹介します。定年になったら気をつけたいことの「カキケコ」というのがあるそうで、カは感動すること。キは興味を持つこと。クは工夫すること。ケは健康であること。コは恋をすること。だそうです。80代になった時の「カキケコ」と言うのもあるそうで、カは風邪をひかないこと。キは気を病まないこと。クは食い意地をはらないこと。腹八分目ということですね。ケは血圧をはかる。コはこけないこと。だそうです。なるほどと思われた人も多いのではないでしょうか。何歳になっても、いろいろなことに興味を持って前向きに楽しく生活するのが基本のようですね。

北須磨文化センターでは、神戸市看護大学生による健康相談会・認知症サポーター養成講座等で連携を進めるなど、今後とも地域住民の方々が健康に暮らせるような事業には積極的に協力し進めていきたいと思っています。



神戸市立北須磨文化センター